

常磐新報

社開新常新行發
九五町南町年縣島福
次 藤 藤 伊 人行發
一港古町濱名小縣島福
(於十五行一科告廣)

……はリスク
堂生資
町濱名小
番七四一話電

日刊發行の辭

若草萌は、瑞陽燦として九十の春光正に酣なり。
此の佳日、想へば枯槁經營八春秋の宿願成り素志達して、日刊發行の運びに至る。謹みて平素御愛顧の諸彦に報告するを、無上の光榮とす。
觀するに、政治の大勢刻々に轉變し經濟の情勢時々流動して、吾人の端の隅をゆるさず。
今にして舉措を誤らば、地方産業は其の展開の方途を失ひて昏迷し、人心は其の歸趨を失ひて萎靡し、地方の發展に及ばず障り遠るべからず。不肖一同、非才を擁して而も微力を抵さんとすの寸志は、之れ地方有力人士の意見を徴し、輿論を統一し牢固たる産業の基礎を樹立して、時流を制せんとするに在り。
諸彦、願はくば我等が微意を酌みて更に一段の御叱正と御愛顧を賜はらんことを。
日刊發行に際し、一言御挨拶まで。

主幹 伊藤隆次謹白

躍進への言葉

現狀に對する不満から、現狀を打破して、之を一つの新しい優秀なものにしようとする向上の慾念が働く時、その發展的要求が破壊の威力を振つて新たな建設を要求し、斯くて人類の歴史は刻々に破壊し建設しつゝあると思惟せられるのが常である。
進化向上せんが爲に破壊するとは見るのは實は破壊するのではなく、創造の働きの外面的に示現する變化の姿態である。破壊して後に建設するのでなく、建設せんが爲に破壊するのでなく、創造の作用が刻々取り行かざるが爲に破壊と映するに過ぎない。建設せられんが爲に破壊せらるゝ云ふことは毎このやうな意味を有する。
之を藝術的方向に見ると、破壊の文藝は多くは破壊的であるに止まり、建設的文藝は初めから建設的である。そして最も痛切に人心を刺戟して所謂破壊の目的を達して建設に向はしめるものは建設的文藝である。破壊的文藝は社會の現狀を徒に痛罵するに止まり人類の向ふべき必然的方向の暗示、憧憬なきに反し、建設的文藝は初めから人類の進むべき理想の方向の深刻なる暗示を以て目的とする。此の意味に於て建設的文藝は人道的文藝であるといふことが出来る。
伊藤隆次君此の度從來の常磐新聞を日刊として地方言論の機關たる使命を果さんとす前途祝福に堪へない。私は君のとなりを能く知つてゐる。今後君が操縦界の人として過去幾多の辛酸と努力の体験から、こゝに獨自在な立場を得、君本来の手腕を發揮するは誠に大きな喜びとするものである。私は前に述べたやうに、常に創造と建設を望むものである。新しい自己を生成せんとする君

日刊發行を祝して

福島縣立水産試験場長 中山琢三
福島縣立水産講習所長 中山琢三
春日輝々、物みな生氣に以て斯道に感服せられん。茲に日刊常磐新聞の發行す。此の發行の運びを見るに至つて、祝すと共に切に其の發展に次第である。
惟ふに小名濱今後の發展に期待して待つべきものがあつた。水産講習所の總長として將又南港の完成は東北六縣の關門として眞に洋々たる前途を約束するものである。
此の時に當り小名濱を中核とする日刊新聞の發行は必要不可欠なるものがある。故に速にこの機會を捉へて立つた伊藤君の果敢と勇氣を賞揚し曲を無諷し、山陽の鐘は無ければ誠心善を賞揚し曲を無諷し、不肖の正論を堅持して諸彦の御期待に背かざる様身を奮勵して居ります。
同僚諸君の御援助と御一言入社の御挨拶まで。

入社の辭

大串 馨
陽たつた春の日の、更には常磐新聞の好機に幸ひにして入社し得たことを衷心から欣快と存じます。想ふに、新聞の社會に及ぼす影響は至大にして、其れに擔はる者の責任は甚だ重大なるものがあります。不肖、よしや弘法の才無き山陽の鐘は無ければ誠心善を賞揚し曲を無諷し、不肖の正論を堅持して諸彦の御期待に背かざる様身を奮勵して居ります。
同僚諸君の御援助と御一言入社の御挨拶まで。

入社の辭

江島 一雄
萬物漸く春光に躍らんとす。當り新聞の日刊として此處に入社するを得て深く心に期するものがある。新聞の力は大きい、之を善用して相手の社界の生命を奮ふことは眞に惜むべきである。この故に私の第一に思ふことは、筆を曲げず、事實を正しく發表しようといふことである。
わが同僚の下落が英國の機業を叩きつふし、アメ

入社の辭

比佐 慶藏
この故に私の思ふことは、事件の裏を打倒つて批判の具に供したいといふことである。一切は過ぎ去つて再た還らざるが故に私達は時と離も幸福に生きたい願を持つ。正し、著の幸福の爲に強く願ふことは、私の最後の願である。

寄稿歓迎

配達夫 募集
希望者は至急左に申込まれたし。
南町 昭活版所内 常磐新聞社

紅鯉盗る、カムチャツカへ!!

獨行船準備成る

いよくカムチャツカ出漁の準備である。大漁の報の時期が来た。昨年は初めを鶴首して待たう。

日刊発行難感

最初、日刊発行と言ふ事は、對しては自分も確信は持てなかつた。然し異常な發展に達する盛大さだ。沖取漁業としてカムチャツカへ集る獨行船船数が全國で二百五十隻に過ぎないのを見れば、その豪勢ぶりが察せられる。

だが其の自己經營に於ては、遂に勇ましい産ぶ聲を揚げ得た事は、偏に皆様方御覽送られる。この貸貸四ヶ月で千五百圓、自己經營となれば其の利益はとて、この比ではない。或る船主が強ひて頼んだところ権利金一萬圓とせよと言はれたとの事。

紅鯉は儲けで最も高く、昨年は一尾約五十八圓白鯉は十一圓位で、引き用は、ブツとトつて四圓位の相場だつた由。

あちらは十二時頃やつと日が暮れ二時にはもう夜が明ける。其の夜も白々透明のいでひよつこ甲板上に出た。すると戸惑ひする。御機嫌と御機嫌とに依り、身も心も捧げつくして、通達替で警戒するので安心だ。御願ひ申し上げます。(伊藤職)

祝日刊発行

福島縣石城郡小名濱町役場
町長 小野 晋平
助役 高木 保
収入役 樋口 速

磐城水産工業株式会社
社長 小野 晋平
専務 福尾 伊太郎

内務省小名濱修築事務所
所長 福來 總十郎

日本食料工業株式会社
小名濱工場
場長 原 金藏

平製氷株式会社

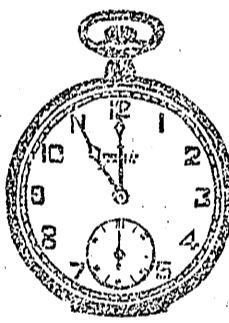
社長 木村 清治
専務取締役 松木 一郎
小名濱工場長 馬目 安一

釜屋商店

諸橋 久太郎
諸橋 元三郎

保効 快鼻湯
効 諸腫、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多加症、頭重、肥厚性鼻炎に靈効あり、其他鼻骨彎曲症、並に中耳炎に偉大な能神効ありと賞賛されて居ります。

快鼻湯製造發賣元
磐城國町一丁目
水野藥局
責任製劑者藥劑師 水野 清一



各國時計各種 小名濱町中島通り
指輪、眼鏡、蓄音器、ラヂオ
附屬品一式
内山時計店
電話四十九番

良品賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店

金物問屋 釜屋商店
東京 磐城平町五丁目
電話九番・九九番
電話一〇九五六

清世界

元寶 水清屋本店



小名濱分院開設
耳鼻科 専門 大和田醫院
毎週月、水、金、午後五時出診
本館平町南町一六番電話一七〇番

内科 外科
花柳病科 會田醫院
小兒科 院長 會田 隆
小名濱町上横町

親切 KS 第一
船用電氣 各種發電機
各種蓄電池 捲替修理
各種電球 販賣
磐城小名濱町
スマヤ電氣部
ケイエス商會
店主 小濱敬太郎
電話一五九

善改術技
製作品種目
高圧タービンポンプ
電動捲揚機
コンクリートポンプ
送炭用チェーンコンベヤー
風機
價廉品良

吉田伴吉商店
福島縣平町字堂前
電話二二五番
吉田伴吉商店東京出張所
東京市京橋區入船町三番
電話東京五七二三番

クスリと 御相談は
家庭醫療の 親切の店

白石藥舖
小名濱町中島通り 電話三三番